

基本事業コード	11020001	担当課所名	荒川総合支所地域振興課
基本事業名	荒川総合支所地域振興事務		
総合振興計画の位置づけ	基本柱(章)	7	互いに助けあう「協働のまち」
	政策	3	誰からも信頼される市役所づくり
	施策	-	-
			総合振興計画 - ページ

**基本事業の概要**  
主に荒川総合支所管内在住の市民に対して、本庁の環境部、産業観光部、地域整備部で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事が済むように利便性を高める。また、荒川地域振興課の自主事業として、荒川農村環境改善センターの貸し館業務、農機具の貸出し、ちちぶ花見の里の管理運営を行い地域の振興を図る。

**対象** (主に) 荒川総合支所管内在住の市民 / 荒川地域  
**意図** (対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する / 地域の振興を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
地域密着サービスを提供すべき事業数に占める実事業の割合	実事務数 / 提供すべき事務数	%	100.	100.	100.	100.	
荒川地区年間入込観光客数	-	人	450,000.	500,000.	529,000.	500,000.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	本庁環境部との共同事務	指標	-	-	-	-	A	
			0	0	0		維持 維持	
02	本庁産業観光部との共同事務	指標	-	-	-	-	A	
			0	0	0		維持 維持	
03	本庁地域整備部との共同事務	指標	-	-	-	-	A	
			0	0	0		維持 維持	
04	荒川農村環境改善センター維持管理事業	指標	荒川農村環境改善センター利用人数	10,000.	10,000.	9,416.	A	◎
			7,770,116	7,243,606	7,558,000		維持 維持	
05	農業関連施設維持管理事業	指標	そば刈取作業戸数	90.	90.	87.	A	
			475,993	464,523	726,000		維持 維持	
06	ちちぶ花見の里管理運営事業	指標	ちちぶ花見の里利用人数	25,000.	25,000.	32,440.	B	○
			1,409,496	1,927,870	2,262,000		維持 拡充	
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14	平成23年度終了事業	指標						
			4,231,000					

(参考) 最終予算額(円) 14,807,000 10,119,000

事業費の合計(円) (A) 13,886,605 9,635,999 10,546,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	4,231,000		
	地方債			
	その他特定	403,344	398,498	336,000
	一般財源	9,252,261	9,237,501	10,210,000

正規職員	業務量	8.00人	9.00人
	人件費(B)	47,538,048	54,184,509
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	3.00人	1.00人
	人件費	4,626,145	1,455,654

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 61,424,653 63,820,508

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小   維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	総合支所の役割である市全体の行政サービスを円滑に行い、地域の特色や状況に即した生活基盤の向上を図るため地域密着サービスを行うべきと判断した事業数に占める割合と、観光、農林業をはじめとした産業振興の向上を図るため荒川を訪れる入込客数の指標を設定した。今後も現場主義をはじめとし、社会基盤の整備や維持管理、市民生活の向上を図ると同時に、荒川を訪れる観光客のニーズにも応え商業及び産業振興に努める。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 01から03については、各部所への手続等の不便さを減らし、併せて市民の生活基盤向上を図っている。04から06については、地域コミュニティ事業の利用者へのサービス提供や、農林業や商業、産業の振興及び向上に繋がる事業として妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 行政事務及び施設管理等については、条例等により市が実施主体となることが妥当である。その中の観光分野では、各種まつり開催において市(総合支所)と地元関係団体による協議会が事業主体となることが多い。事業を実施するに当たり、実務的な事務の多くを市が担うことが多く、現在の限られた職員と財政資源の中で、実務を精査し、市の負担割合の低減を検討したい。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 04『荒川農村環境改善センター維持管理事業』を最重点化する事業として選択したのは、この施設は地域コミュニティの活動拠点として、地域住民の文化の向上と福祉の増進を目的に建てられた施設であり、各種の会議及び講座、講演等の事業が開催され、目的を達成する必要があるためである。 06『ちちぶ花見の里管理運営事業』については、「そばの里あらかわ」を代表する交流拠点施設として整備され、費用対効果の目標値は達成されているものの、「そば処」は団体予約専用で稼働率の低い施設となっていることから、平成24年度に荒川商工会に業務委託し地元の主婦グループ「えがおの会」の活動等で稼働率が上がりつつあり、施設の利用拡大を図るため重点化する事業として選択した。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)</p> <p>06事業 園路を活用した健康づくりウォーキングコースの設定を行いイベント系ではない角度からの施設の利用拡大も図る。</p> <p>約800mのウォーキングコースを整備し、花見の里周辺の老人クラブに呼びかけ、健康づくりウォークを実施した。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>02事業 管内の既存観光資源等の整備及び掘り起こし、関連機関との連携で、ちちぶ観光ナビ、新聞などの各種媒体に情報提供し、継続的に荒川の魅力を発信する。05事業 秩父在来種である荒川そばのPRを継続的に実施し、ブランド化を図る。</p> <p>02事業は、荒川しだれ桜まつりや新そばまつりなど、ちちぶ観光ナビ等にPRを行った。05事業は、荒川そばのPRを継続的にやっている。またブランド化についてはそば組合が取り組み途中である。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>市の観光関連施設等が分散して立地しているため、利用効率が悪くなっているため、長期的には施設の移転も視野に入れた検討を行う必要がある。</p> <p>施設の移転については、長期的かつ慎重に検討する必要がある。</p>
<p>改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 地域密着型の住民サービスにより、住民との信頼関係が生まれる。また、遊休農地の解消や関連団体との連携により農業及び産業振興の活性化が図られる。</p>	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	加藤 伸之	電話番号 0494-54-2114
----------------------	-------	----------------------